



次世代都市交通システム・移動体への電池応用

低炭素社会実現に向けて、大幅な燃費向上・CO₂排出量削減に威力を発揮する高性能二次電池が注目を集めています。

本シンポジウムでは、電動二輪車、EV、コミュニティ電気バス、路面電車、トランスファークレーンなど、地域社会から港湾に至るさまざまな利用シーンで普及が期待されている低環境負荷型移動体への新しい電池応用に関して、この分野の第一線でご活躍中の講師の方々にご講演

参加費
無料

EV
Electric motorcycle
Electrical Bus
LRT
Transfer Crane
BATTERY

平成22年12月6日(月)

13:00~16:40

豊橋技術科学大学 講義棟 A-101

プログラム

13:00~13:10	未来ビークルリサーチセンター紹介	豊橋技術科学大学 副学長 未来ビークルリサーチセンター長 角田 範義
13:10~14:00	講演1 「世界の二輪 EV の現状とホンダの取り組み」	(株)本田技術研究所 二輪 R&D センター 技術開発室 0ブロック 主任研究員、シニアマネージャー 大田 淳朗氏
14:00~14:50	講演2 「新しい電気自動車と充電インフラの特徴 ～その普及のために必要な取り組み～」	東京電力(株) 技術開発研究所 電動推進グループ 主任研究員 丸田 理氏
14:50~15:00	休 憩	
15:00~15:50	講演3 「リチウムイオン電池を用いた電気コミュニティバスの開発と実証試験」	北陸電力(株) 技術開発研究所 技術開発チーム 課長 松田 弘治氏
15:50~16:40	講演4 「大容量ニッケル水素蓄電池ギガセルの各種移動体への適用開発」	川崎重工業(株) 車両カンパニー ギガセル電池センター 部長 寺田 誠二氏

■ 参加申込〆切 : 平成22年11月29日(月)

■ 申込方法 : 氏名・所属・連絡先を明記のうえ、E-mailまたはFAXにて下記まで。

■ 申 込 先 : 豊橋技術科学大学 研究協力課 研究センター係

E-mail kencen@office.tut.ac.jp

FAX 0532-44-6568

■ 世話人・問合せ先 : 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司

E-mail sakurai@ee.tut.ac.jp

Tel/FAX 0532-44-6722

主催 : 豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター

後援 : 豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会

協賛 : 電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE 名古屋支部、自動車技術会